

地区奉仕事業推進委員会

平塚 R C 外国籍市民の防災（予定）報告

2026.9.26

平塚ロータリークラブ

国際奉仕事業って何をすればいいんだろう

海外と繋がりがあるかどうか

一部の会員しか参加できないかも

企画しても相手国の情勢で実施できないかも

そもそも・・・

継続できるのか？

平塚ロータリークラブビジョン声明

「私たち平塚ロータリークラブは、良き伝統を堅持しつつ、変革と進化に挑戦し、地域社会や国際社会に対し持続可能な奉仕活動を行うことで、会員自身の資質の向上と、先進的なクラブを目指します」

具体的優先事項

1 奉仕活動

1. 地域社会との関わり合を積極的に高める。

- ①地域のニーズを把握し、また地域に対して平塚ロータリークラブの活動を発信する仕組みづくり
- ②地域に対して奉仕活動を提案し、地域から受け入れられ、評価されるクラブ
- ③近隣クラブとの連携
- ④国際貢献事業の再構築を図る

2. 担当委員会

奉仕プロジェクト委員会 公共イメージ委員会 平塚ロータリー基金運営委員会
財団委員会

3 研修活動

1. ロータリー理念やロータリー情報を全会員で共有化する。

- ①全会員を対象としたロータリーの情報を例会、委員会などを通じて共有する。
・定款、細則、規定審議会の変更事項及び活動計画書の活用
- ②新会員へのオリエンテーションの強化と育成プログラムの作成
新会員のロータリーの理解とクラブに早く溶け込むことをフォローする
- ③My ROTARY (マイロータリー) の登録と活用

2. 担当委員会

会員研修委員会 会員増強委員会 会員選考委員会

4 組織強化



外国籍市民のための防災

～ もしもの時に、いのちを守るために ～

開催日	2026 年 12 月 13 日（日）
会 場	神奈川県総合防災センター（厚木市下津古久 280）
主催・共催	平塚ロータリークラブ／平塚市 災害対策課・平塚市文化交流課・平塚市危機管理課

誰一人取り残さない地域防災へ

1

事業背景

外国籍市民が安心して暮らせる地域づくりは、防災の重要テーマです

6,795 人

平塚市の外国籍市民

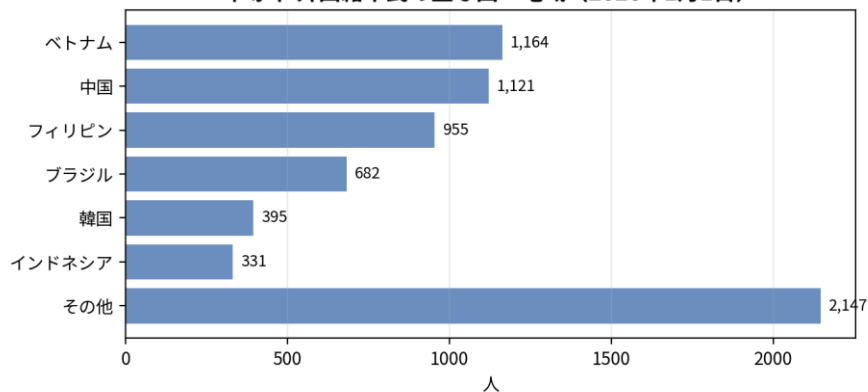
約 80 か国

平塚市で暮らす国・地域

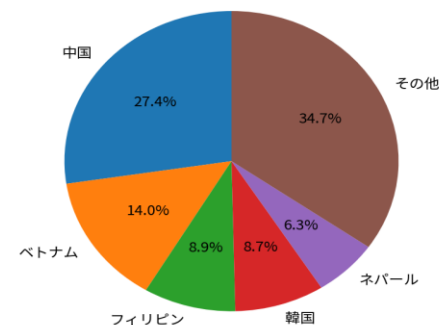
309,815 人

神奈川県外国籍住民

平塚市 外国籍市民の主な国・地域（2026年1月1日）



神奈川県 外国籍住民の国・地域別構成



データから見えること

平塚市では、ベトナム・中国・フィリピン・ブラジルなど、多様な国・地域にルーツを持つ方々が暮らしています。災害時には、言葉や制度の違いによって情報取得や避難行動が難しくなる可能性があり、平時からの学びとつながりづくりが欠かせません。

出典：神奈川県「市（区）町村別主要国・地域別外国人数」（2026年1月1日現在）／平塚市「外国籍市民との共生」

平塚ロータリークラブは 2024 年度より、平塚市災害対策課・文化・交流課との共催により『外国籍市民』を対象とした防災事業としてセミナーを実施してきましたが、防災事業の体験を通じてもっと多くの外国籍市民を巻き込みたいと考え、外国籍市民のための防災体験を新規事業として立上げました。

「自ら命を守る力」を育み、国籍や文化の違いを越えて支え合える地域づくりを目指します。

現状は

● ことば

警報・避難情報・行政からのお知らせが十分に伝わらない

● 生活習慣

日本の災害や避難所のルールに慣れていない

● 避難行動

避難所の場所や、いつ・どのように避難するか分からない

● 地域とのつながり

困った時に相談できる人や支え合える関係が少ない

防災を「知る」 → 「体験する」 → 地域で「つながる」

単発のイベントにとどまらず、
多言語防災マニュアル、やさしい日本語マニュアル、QR コードによる情報発信、
行政・日本語ボランティア・企業・ロータリーのネットワークを成果として残し、今後も活用できる「平塚モデル」へつなげます。

★外国籍市民のための防災に至るまでの歩み

2024 年度 2025 年 5 月

第 1 回 外国籍市民のための防災セミナー実施

参加：①ロータリークラブ会員の企業に勤める外国籍社員が対象 6 名

協力：平塚市災害対策課

2025 年度 2026 年 8 月

第 2 回 外国籍市民のための防災セミナー実施

参加：①ロータリークラブ会員の企業に勤める外国籍市民が対象 10 名

②日本語ボランティアさんに依頼して外国籍市民 6 名

協力：平塚市災害対策課・平塚市文化交流課

2026 年度 2026 年 9 月（予定）

第 3 回 外国籍市民のための防災セミナー実施

参加：①ロータリークラブ会員の企業に勤める外国籍市民が対象 20 名予定

②日本語ボランティアさんに依頼して外国籍市民 10 名予定

協力：平塚市災害対策課・平塚市文化交流課・平塚市危機管理課

3

事業の3つの柱

①

防災マニュアル作成 （協力：平塚市危機管理課・災害対策課）

災害時に「何をすればよいか」が分かる、外国籍市民向けの実用的な防災マニュアルを作成します。

- やさしい日本語を基本に、主要言語への展開を検討（ベトナム・中国・フィリピン・ブラジル）
- 地震・風水害、避難、避難所生活、備蓄などを分かりやすく整理
- QRコードから平塚市・公的防災情報へアクセスできる仕組みを整備



簡単な防災マニュアル作成

各国に翻訳

QRコードで見れるようにします

②

防災セミナー（協力：平塚市災害対策課・文化交流課・各国の日本語ボランティアさん）

防災センターへの移動時間等も活用し、日本で暮らすうえで必要な防災知識を「知る・学ぶ」機会をつくります。

- 災害発生時の行動と避難の基本
- 避難所の利用や日本の防災ルール
- 防災グッズの使い方、日頃からできる備え

第3回 2026 年度開催

～もしもの時に、いのちを守るために～
外国籍市民のための防災セミナー

第2回 2025 年度開催



地震・津波・大雨にそなえよう！

外国人のための
防災セミナー

Disaster Preparedness Seminar for Foreign Residents

日本では、地震・津波・台風・大雨などの災害が おきます。
自分と家族を 守るために、
みんなで「防災」について 学びましょう！

9月27日日
10:00～12:00
(受付 9:45～)

お気軽に
ご参加ください！
**参加無料
FREE!**

災害対策用
プライベートルーム

やさしい日本語で
説明します！
(日本語があまり)わからなくても
大丈夫！

いろいろな国の方が
参加しています！
安心して
ご参加ください。

いざというときに
役に立つ知識が学べます！
自分と家族の命を
守りましょう。

こんなことを学びます！

- 地震・津波・大雨のとき、どうすればいい？
- どこに避難すればいい？
- 自分の家の近くの避難所はどこ？
- ハザードマップはどうやって見る？
- 災害の前に、何を準備すればいい？

会場
平塚商工会議所
〒254-0812
神奈川県平塚市松風町2-10

JR東海道本線「平塚駅」南口から
徒歩約5分
駐車場は台数に限りがあります。
公共交通機関でお越しください。

申込不要！ 当日、そのまま来てOK！

主催 平塚ロータリークラブ
Rotary
Club of Hiratsuka

平塚市災害対策課

お問い合わせ
平塚ロータリークラブ事務局
0463-24-3840
(平日 10:00～17:00)

③

防災センターにて災害体験

神奈川県総合防災センターで、実際の災害を想定した体験を通じて「自ら命を守る行動」を身につけます。

- 地震・風水害体験
- 煙避難・消火体験
- 応急救護・AED など、周囲と協力して命をつなぐ体験



神奈川県総合防災センターHP より

4

事業概要と当日の流れ

事業名	外国籍市民のための防災 ～もしもの時に、いのちを守るために～
開催日	2026 年 12 月 13 日（日）
会場	神奈川県総合防災センター（厚木市下津古久 280）
主催	平塚ロータリークラブ
共催	平塚市 災害対策課・平塚市文化交流課・平塚市危機管理課
対象	平塚市在住・在勤の外国籍市民、日本語ボランティア、企業関係者、ロータリー関係者
目標	参加者 100 名程度（外国籍市民 50 名以上を目標）

1	2	3	4	5
8 : 30	8 : 45	9 : 30～11 : 30	11 : 30	12 : 15
集合・受付	バスで移動	防災体験	バスで移動	解散
参加者確認	バス内にて	地震・風水害	防災グッズの	
グループ分け	オリエンテーシ ョン	煙避難等	使用方法	
		記念撮影	アンケート	

5

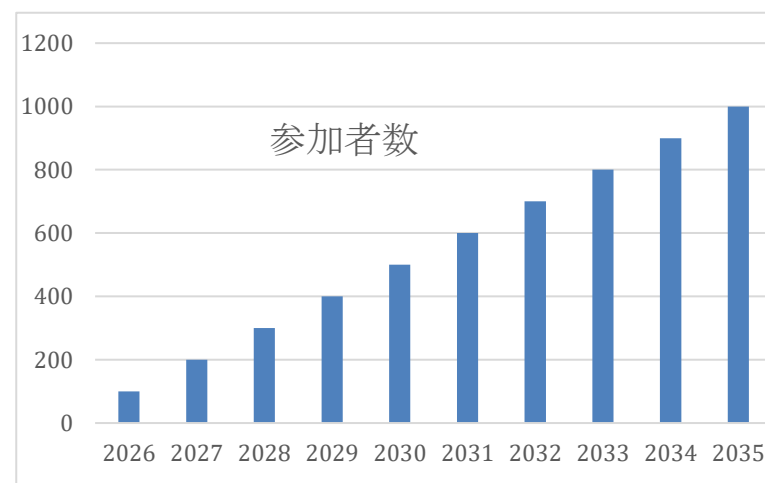
収支計画・参加者目標計画

概算予算 750,000 円

科目		予算	考え方
大型バス代	(地区補助金対象)	160,000 円	参加者の安全で円滑な移動
防災グッズ	(地区補助金対象)	250,000 円	2,500 円×100 名を想定
多言語防災マニュアル制作		100,000 円	編集・翻訳・印刷等
マニュアル掲載ポータルサイト制作		150,000 円	防災マニュアルサイト
広報物・印刷費		50,000 円	チラシ・当日資料・WEB 関連
予備費		40,000 円	追加対応・物価変動等

参加者目標計画

2026 年～2035 年 100 名/年



継続事業として、1日限りの防災イベントではありません。

3つの取り組みを連動させ、外国籍市民が「知識」と「経験」と「つながり」を持ち帰れる事業を目指します。

① 防災マニュアル

地域に残る

事業後も活用できる
多言語の防災情報

② 防災セミナー

知識が残る

災害時に判断するための
基本知識を身につける

③ 防災体験

経験が残る

いざという時に動ける
実践的な行動力を育てる

この3つをつなぐことで

期待される成果

命を守る力

外国籍市民が災害時に自ら判断し、行動できる

共助のつながり

地域・企業・ボランティア・行政の
関係が深まる

多文化共生

国籍・文化の違いを越えた相互理解を促進

継続できる成果

マニュアル・QR・運営ノウハウが地域に残る

行政との協働

平塚市との連携を今後の事業へつなげる

公共イメージ

ロータリーの実践的な地域奉仕を発信

平塚ロータリークラブは、国籍や文化の違いを越え、
すべての人が安心して暮らせる地域社会の実現を目指します。

誰一人取り残さない地域防災へ